学校自己評価及び学校関係者評価報告書

（令和１年度）

専門学校　新潟国際自動車大学校

項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

・自動車関連の先進かつ高度な技術を実践的に教育することにより、国家、国際社会に貢献できる人材を育成する。

・専門的な資格、技能、知識をもつと同時に、社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な思考、人間性豊かな社会人を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・自動車整備士の合格率100%の継続
・留学生の全員就職100%
・レーシングドライバーの育成
・カーデザインコンテストの開催

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	(4) 3 2 1
・学校において特色ある職業教育が行われているか	(4) 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	(4) 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 (3) 2 1
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4 (3) 2 1

①現状

[教育理念・目標に基づき、資格、技能、知識を習得させるべき人材育成を行っている。]

②課題及び改善方法

[特になし]

③特記事項

[特になし]

(2)学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 (3) 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4) 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 (3) 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	(4) 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	(4) 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	(4) 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4) 3 2 1

①現状

部門長により作成されるビジョンシートにより、運営方針は全職員に周知され、運営組織については組織図、校務分掌にて明確化されている。教務、財務、人事等の法人全体の重要事項については、理事会・評議会等にて意思決定がなされている。

②課題及び改善方法

特になし

③特記事項

特になし

（3）教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	(4) 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (3) 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	(4) 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4 (3) 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

①現状

[各学科別に企業との連携による授業を進めている。授業評価については前・後期に授業アンケートを実施し、各教員にフィードバックされている。成績評価の基準は明確に定められており、学生の手引き等で、周知されている。職員の研修に関しては、毎年定期的に計画し、受講している。]

②課題及び改善方法

[先進技術対応のため特定整備の認証取得が必用である。また、関係団体との連携も重要となるので職員の積極的教育も継続していく。]

③特記事項

[特になし]

(4)学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	(4) 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	(4) 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	(4) 3 2 1
・卒業性・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 (3) 2 1

①現状

[就職に関しては専任職員を配置し、各関係業界等と連携を図り、求人獲得、就職支援等を行っている。資格取得は、就職するための重要項目でもあり、特に学校内でも重要視したカリキュラムを組み、取り組んでいる。留学生の退学が多い。]

②課題及び改善方法

[資格取得率100%が教育質保証で重要である。]

③特記事項

[特になし]

(5)学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(4) 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
・保護者と適切に連携しているか	(4) 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 (3) 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリヤ教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 (2) 1

①現状

学生支援はキャリヤカウンセラーの資格を持つ職員や、カウンセラー協会の訪問カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。保護者とは年2回の個別面談と担任による個別対応にて連携している。又、企業との連携による研修等を実施し、社会人としての動機付けも行っている。

②課題及び改善方法

積極的な学生が減少傾向にある。自己啓発教育を積極的に行う必要がある。
既存の自己啓発授業をブラッシュアップしていく。

③特記事項

特になし

（6）教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

①現状

学外のサーキット場とも連携を取り、実際に試運転等を体験できるようにしている。防災に対する体制については、関連法令に基づき、消防設備点検と避難訓練を実施している。
また、インターンシップは積極的に参加している。

②課題及び改善方法

防災訓練だけではなく、職員や学生への防災意識向上が必用。
研修などを検討。

③特記事項

特になし

（7）学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

①現状

学生募集については、パンフレット、募集要項を作成し、請求者に配布している。
授業体験や施設見学ができるオープンキャンパスを適時開催している。教育効果はパンフレット、オープンキャンパスを通じて参加者に伝えている。

②課題及び改善方法

少子化による学生数の減少を止める施策が必用。
WebなどによるITでの募集活動と人による募集活動に力を入れる。

③特記事項

特になし

(8)財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	(4) 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

①現状

[法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。]

②課題及び改善方法

[現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を今後も継続的に行っていく。]

③特記事項

[特になし]

(9)法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 (3) 2 1
・自己評価結果を公開しているか	(4) 3 2 1

①現状

[法令遵守については、国土交通省が定める自動車整備士要請施設の指定等の基準のついて(平成8年9月4日付自整第157号)の依命通達に沿って運営されており問題はない。個人情報は学校法人にて定められたコンプライアンスに基づき保護されて]

②課題及び改善方法

[特になし]

③特記事項

[特になし]

（10）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	(4) 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4 (3) 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練えお含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1

①現状

［関係省庁や民間団体が主催する研修会に当校の施設提供や講師協力などを実施している。学校内ボランティア組織を結成し、ボランティア活動の支援を行っている。］

②課題及び改善方法

［特になし］

③特記事項

［特になし］

（11）国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	(4) 3 2 1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍監理等において適切な手続等が取られているか	(4) 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 (3) 2 1
・学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	4 (3) 2 1

①現状

［留学生受け入れについては、同法人の関連部署である国際推進部と連携をし、適切な受け入れをしている。在籍監理においては東京入国管理局が証明する在留検査関係申請等の取次ができる職員を配置している。学修成果を証明する卒業証明書は必要があれば母国語での発行をしている。］

②課題及び改善方法

［留学生の当校入学前のアルバイトオーバーワークによる在留不許可が課題として残る。
入試体制の再検討と日本語学校との連携が必用。］

③特記事項

［特になし］

4．学校関係者評価結果による具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・学校運営に関しては、教育目標に揚げている高度な技術を実践的に教育することにより、専門的な資格、技能、知識を備え、社会貢献できる人材を育成することにもとづき適正に運営されている。

・教育の部分では、国土国通省指定1種養成施設の基準により、計画、実行、報告が適正に実行されている。

・整備士養成以外の学科では、専門教育を実施することで、新潟県より許可を得て運営されており、適正である。

・自動車先進技術の市販車導入に合わせ、教員指導力研修等の受講を進めて教員の教育力を強化していくことを継続する。（外部研修への積極的な参加）

・学習成果として、就職率、資格修得率、退学率等があげられるが、卒業生等の意見を活用できる体制を維持し、継続していくことを意識していく。

・学生支援として、外部組織との連携を強化し、臨機応変な学生対応ができる学校になれるよう職員の意識を高めていくことを再確認する。

評価委員会による評価結果確認欄

12月 3日　西田 将臣　印

12月 3日　片野 貴雄　印

12月 3日　中村 寿和　印